



# にじのはし

学校だより

豊かな心を持ち夢や目標に向かって自ら考え取り組む児童の育成を目指して



発行日  
R6.7.18  
発行者  
新垣 典彦

## 学校を支える力



掲示委員会：先生方の研修成果を見やすい場所へ

学校には、740名の子供達と60名の職員が学びの環境を整えています。一番の活躍者は委員会活動をしている6年生でしょう。

4月の発足式では、委員会活動のねらいを「学校生活を楽しく充実したものにするため」「進んでやるべきことを見つけ、それを分担しながら自主的に行うこと」「自分達の知恵と工夫で実践できることを増やすこと」の3つに絞って伝えています。

こうも伝えてます。「分担された仕事をやるだけなら、やらされ感が強いが自分達で見つけて解決できるなら達成感も違う」それが、子供達が働くときに大きな力になることは間違いないですからね。



栽培委員会：毎日使うポリバケツも雨天時に洗う

決して目立つ活動ではないが、学校生活を充実させるために6年生の皆さんが頑張ってくれています。これからも宜しくお願いしますね。

## 水泳学習ができる

6月に入り北部のダムの貯水率も大幅に回復したので、水泳学習の準備に取り掛かりました。5、6年生を中心にプールやフロアの汚れをしっかりと落とし、仕上げを行った体育委員会の皆さんと一枚写真を撮りました。ポーズをとっている6年生が持つ果物などは、水泳学習の安全祈願ので使用したものです。写真に映っている皆さんと一緒に心を込めてお願いしたので、今年も大きな事故なく水泳学習を終えることができました。また、安全管理のための見守りにご協力頂いた保護者の皆様にも心より感謝申し上げます。



体育委員会の皆さんと共に



清掃で大活躍の6年生

プールが屋外にあり、毎年このような状況の中で、プールの壁を磨き、中央の集めた汚れをバケツで外の出す作業を行っています。学習の裏では、いつも高学年の皆さんのがんばりあり！！

## 暑さにも負けず



徒歩登校で元気一杯の子供達

梅雨明け後、本格的な暑さとなりましたが、**元気に徒歩登校している子供達**を見ると、私の朝の活動(安全確認・立哨・ゴミ拾い・地域の方への挨拶等)の励みにもなっています。



立哨の保護者に感謝

また、**保護者の皆様**の立哨も増えて、**元気な挨拶やお礼の言葉**が多く聞こえてくるようになりました。こうした地道な活動が、地域を安全にし、子供達の安全に繋がっていることを実感しています。更に、**保護者に混じって地域の企業の皆様も立哨に立っております**。今後、益々地域の横の繋がりが多くなるよう願っています。



## 今年も平和を願い

6月23日の慰霊の日を前に、今年も平和を考える大きな集会を持ちました(3学年以上)。久保田先生を迎えての講話でしたが、先生自身は戦争当時まだ

幼かったようです。わずかな記憶とともに「語り継がなければならない」という強い意思で、各地の学校で語り部として活動しているとのこと。元は学校の先生ということで、戦争と平和を写真やイラストで比較しながら質問形式で進められ、とても分かりやすいお話でした。



先生のメッセージ:「戦争を忘れない」「助け合いの心」を持って「人のためになることをしよう」

## 子供達とともに

地域の課題を支援したいという思いから学校では「子ども会づくり」「防災」を鍵に「ラジオ体操」を足掛かりとして、子供達の縦の繋がり、大人同士の横の繋がりをつくりたいという願っています。そこで、コロナ禍前をイメージしつつ校区内を8地区に分けてみました。本来の「子ども会」は、自治会やPTCA・学校の組織ではなく、**子ども達の保護者が自主的に運営する組織**です。しかし、コロナ禍等で失った経験は非常に大きく、保護者自身でつくることは困難な状況ですので、PTCAと学校ができることとして、まず「ラジオ体操」を選択したわけです。「見通しが持てない」と不安な声も当然ありますが7月17日(水)には**6年生を中心に当番やリーダー等の役割分担**をしておりますので、一緒に活動しながら6年生の声に耳を傾けて、協力して課題解決して頂けたらと思います。ラジオ体操



の日程等は、自治会や老人会等へも情提供しております。

